

学校推薦型選抜 県内高校卒 「総合問題」

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

注意事項

- 1 解答は全て解答用紙に記入してください。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 3 不正行為について
 - ① 不正行為については厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験をとりやめさせ退室させます。
- 4 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

問題1 以下の文章は、サイエンスウィンドウ「手塚るみ子さんインタビュー 未来を生きる若者たちへ 父・手塚治虫からの伝言」の一部である。この文章を読み、設問1～5に答えなさい。

手塚作品の中で最も有名なロボットはアトムです。多くの人にとってはテレビアニメに登場する正義の味方としてのアトムの印象が強いと思いますが、原作のアトムは①一般的なヒーローのイメージとは異なる一面も見せています。

最初は雑誌に連載した『アトム大使』の中で、地球に(a) こうげきをしかける異星人と人間とのコミュニケーションを仲介する役割を担うキャラクターとして登場しました。子どもたちの(b) はんきょうは非常に大きく、翌年にはアトムを主人公にした『鉄腕アトム』の連載が始まったんです。こちらは悪い人間とその人間に使われるロボットがいて、彼らを倒すためにアトムが戦うという一話完結のお話です。

アトムはわずか10歳の少年ロボットですから、②人間の心が理解できないこともあれば、人間社会に対して納得いかないこともある。そうして悩んだり泣いたり、時には家出したりと、普通の小学生と同じような感覚を持ちながら成長していきます。

素直な子どもの目線で見ると、社会の矛盾点はたくさん見えてきます。手塚自身も10代のころ戦争という大人社会の(c) りふじんさに振り回されたり、体が弱かったせいでいじめられたりもしましたから、納得のいかないことは多かったと思います。

同時にそれは一生(ア) 拭えないコンプレックスにもなりました。手塚はコンプレックスの強い作家で、非常に子どもっぽいところもありましたから、世の中に対して「なぜなんだろう」という疑問を持ち続け、それを作品にぶつけたのでしょう。

『鉄腕アトム』の中で私が最近特に注目したのは「地上最大のロボット」の巻の中のブルートウが出てくる一場面です。ブルートウはもともと「世界一のロボット」という称号を得るために(d) たんじょうした戦闘ロボット。世界中の名だたるロボットを次々に倒し、アトムの前に現れます。対するアトムは人間の平和のために働くロボット。両者が火山の噴火口で対戦しはじめたとき、突然火山が大噴火の(e) よちょうを見せたのです。このままでは街に大きな被害が出てしまう。お茶の水博士から「何とか噴火をくい止めてくれ」と頼まれたアトム。でも一人の力では到底噴火を阻止することはできない。アトムは戦いのさなかブルートウに助けを求め、二人がかりで何とか阻止しました。

ブルートウは本来、相手を倒したいという以外の感情は持っていません。それがアトムに言われて手伝ううちに、生まれて初めて人を助けたいという感情が芽生え、「こんな気持ちになったのは初めてだ」と言うんです。ただ、最後はもとのブルートウに戻り、別の強大なロボットと戦って敗れてしまっていますが……。

この場面は、人間の平和のための科学技術を体現したロボットと、相手を倒すために作られた科学兵器としてのロボット、この両者の使い道が初めて(イ) 融合されて、科学技術はやはり人間の平和や幸福のためにあるものだという答えを出していく場面でもある。そのことに最近になって気づき、手塚が作品に込めた思いを改めてかみしめました。

さらに、シリーズ後期の『アトム今昔物語』は、ロボット技術を扱う人間を非常に厳しい視点で描いた点で気になる作品です。

この中では当初、ロボットは人間の奴隷のような立場に描かれています。ところが物語が進むにつれ、ロボットに知恵が備わり社会的な存在感が増してくると、ロボット法ができ、ロボットに権利が与えられます。ロボット法は欧米のSF小説に登場するロボット三原則をベースにしていますが、ロボットに対する法律だけでなく、扱う人間側が守るべき事項も規定しています。

実際の社会の中で、この先ロボットが存在感を増していき、アトムの話にあるようなロボット自体に権利が与えられる時代が来るかどうかは分かりません。ただ、機械とそれを扱う人間との関係性の中で、何らかの法律は必要になってくるでしょう。

また人間が、自分たちと同じように意思を持つ自立した存在のロボットを望むとしたら、そのロボットをどんな対象と考えるのか。この問いが大きく課せられてくると思います。

(中略)

科学技術はものすごい速さで進歩しますが、②人間の心の進歩は遅く、それが使いこなせるようになるまでには非常に時間がかかります。ロボット技術に限らず、②人間の心が置き去りにされたまま技術だけがどんどん進歩していく怖さをどこかに持っていなければならないということも、手塚は漫画やアニメ、エッセイを通して繰り返し訴えました。

手塚は、まだ豊かな自然が残っていた兵庫県の宝塚で育ち、野山を(f) かけ回って昆虫に触れたり夜空の星を眺めたりと、身の回りの自然を通して「なぜだろう」「不思議だな」と感じることから科学への興味を募らせていきました。また好奇心が(g) おうせいで、物理、自然科学、宗教、哲学……と、実にさまざまな知識や考え方を次々と自分の引き出しに入れていきました。その引き出しの多さが想像力の幅の広さにつながり、タイトルにして700以上という作品を生み出すことができたのでしょう。次代を担う子どもたちにも、たくさんの引き出しを持ち無限の可能性を感じながら生きてほしいと願っていました。

作品の中でたくさんのロボットや未来社会を描いてきた手塚ですが、最終的なテーマは「人間はどうあるべきか」ということに尽きると思います。ロボットがどんなに(1) 精巧になろうと、どんな形になろうと、それを使う人間の成長がいちばん重要だということを、読者に伝えたかったのだと思います。

出典：サイエンスウィンドウ；『手塚るみ子さんインタビュー 未来を生きる若者たちへ 父・手塚治虫からの伝言』, Science Window 2016 冬号(1～3月)／第9巻第4号, 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST), 18-21頁より引用 一部改変

設問 1 下線部 (a) ～ (g) のひらがなを漢字に直しなさい。

設問 2 下線部 (ア) (イ) の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

設問 3 下線部 (1) の対義語 (反対語) を漢字で書きなさい。

設問 4 下線部①の「一般的なヒーローのイメージとは異なる一面」とは、どのような一面なのかを、文中から 100 文字以内で抜き出しなさい。

設問 5 本文中の 3 か所に下線部②「人間の心」という表現が登場する。あなたの経験をもとにしながら「人間の心」の成長とは何かについて、400 字以内で具体的にあなたの考えを述べなさい。

問題2 以下の文章は“English aizuchi”というタイトルで書かれた文章である。設問1～6に答えなさい。

Having a conversation is like playing a game of tennis. ①When two people play, they take turns hitting the ball back and forth. If you don't return the ball, you can't enjoy the game! The same is true for a conversation. If you (ア) without responding, people think you're not paying attention. If you don't give people feedback, they usually stop talking. Every language has a special set of expressions to (イ) this feedback. In Japanese, these conversational responses are called aizuchi. They include words and phrases such as hai, naruhodo and wakarimashita. These play an important role in promoting communication and building interpersonal relations.

When giving feedback, ②listeners have four important tasks: to show that they're listening, to confirm that they understand, to express interest and to provide sympathy.

Let's (ウ) with the basics. In informal conversations, the most common expressions to show that you're listening are "Yeah," "Uh-huh" and "I see." These are used when the speaker is explaining something or giving directions.

If a bus driver is explaining how to (エ) to your hotel, listen carefully and keep repeating "Yeah... Uh-huh... I see..." in the pauses he provides. To confirm that you understand, use expressions like "OK," "Got it" and "I understand."

Like other languages, English uses special phrases to express interest, sympathy and surprise. One way to express interest is to echo statements using the verb "do." If your friend says, "I went to Kyoto last week," a good response is "Did you!" or "You did?"

If someone tells you something surprising, use phrases such as "Really?" "Wow!" or "Unbelievable!" If your classmate reports, "I (オ) Lady Gaga at Haneda Airport!" just reply "Really? That's amazing!"

English has different ways to express sympathy for happy and sad occasions. If someone tells you they're sick, just say "That's too bad!" If they failed an exam, say "I'm sorry to hear that."

If your colleague says, "I got a job!" you can reply "That's great!" If he says, "I'm getting married!" just say "Congratulations!"

③If you practice these responses, you'll find that your conversations improve and that people enjoy talking to you. Most of these expressions can be learned from books. Another way is to watch movies to see how native speakers use them.

When practicing, it's important to use an interested tone of voice, proper facial expressions and appropriate body language. It's no good responding to your partner if you talk in a

monotone, sound like a robot or look like a statue!

When I study a foreign language, I always begin by learning these conversational responses. I'm proud of the fact that I can use aizuchi expressions in French, Arabic, Russian and Chinese — even if I can't always understand what the other person is saying!

出典 : Kip A. Cates: The Japan Times ST: April 14, 2017. 一部改変.

<https://st.japantimes.co.jp/essay/?p=ey20170414>

task : タスク 仕事 役目 exam : examination の略語 試験 テスト

appropriate : 適切な ふさわしい statue : 彫像 Arabic : アラビア語

設問 1 下線部①を日本語に訳しなさい。

設問 2 (ア) から (オ) に入る最も適切な動詞を以下から一つ選んで答えなさい。一つの単語は 1 回のみ選択しなさい。

give saw start get listen

設問 3 下線部②で示されていることを文中から 4 つ抜きだし、日本語で述べなさい。

設問 4 以下の場面に適している相づちとして筆者が推奨しているものを文中から一つ選び英文のまま書きなさい。

- (1) 体調がすぐれないと言われた時
- (2) 同僚から「結婚したんだ」と言われた時

設問 5 (1) 下線部③を日本語に訳しなさい。

(2) 下線部③で述べられていることを学ぶために筆者が挙げている 2 つの方法を日本語で答えなさい。

設問 6 相づちの効果について筆者が説明していることを日本語で 50 文字以内で述べなさい。

令和6年度 山口県立大学
看護栄養学部看護学科
学校推薦型選抜 県内高校枠 「総合問題」 出題意図

【国語】

国語の問題文は、Science Window 2016 冬号（1～3月）／第9巻第4号，国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）に掲載された手塚るみ子氏へのインタビュー記事「未来を生きる若者たちへ 父・手塚治虫からの伝言」の中の一部である。

本文において、「科学技術はものすごい速さで進歩しますが、人間の心の進歩は遅く、それが使いこなせるようになるまでには非常に時間がかかります。ロボット技術に限らず、人間の心が置き去りにされたまま技術だけがどんどん進歩していく怖さをどこかに持っていなければならない」と論じており、文中に登場する「人間の心」「人間の成長」という表現の中に、手塚氏が作品を通じて伝えたかった思い、願いが凝縮されている。

本文には、「最も重要なのは人間の心の成長」という見出しがあり、主張が明快で読みやすい作品である。論述の手がかりになる見出しの部分をあえて載せずに、本文から、筆者の主張を正確に読み取り、受験者のことばで的確に他者に伝えるための論理的思考・表現力をみる。

【英語】

問題文は、「English aizuchi (The Japan Times ST)」からの出題である。明確な論旨と構成を持ったある程度の分量の英文を読み、その要点を読み取ることができるかどうかをみる問題である。受験生には、高等学校における英語の授業内容を適切に習得し、海外の論文を読むための基礎となる基本的な英語の力が備わっているかを問うものである。